

# 考新 覧古

らんここうしん

ふるみ  
古きを覧、  
あたらかんが  
新しきを考える

## 宇美町の草創期

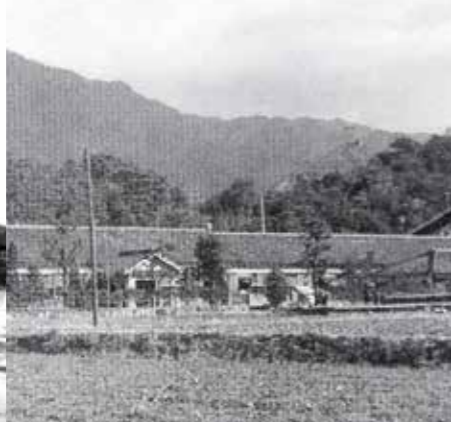
1920年～1960年

大正9年～昭和35年

戦中から戦後。時代の要請を受け、  
産炭地としてまちの整備が進み、  
大きく発展する基盤がつけられた時代



⑨宇美中学校 昭和25年4月1日竣工  
木造瓦葺2階2棟(昭和27年撮影)



⑥神武原小学校 昭和20年3月1日竣工(木造瓦葺平屋2棟)



宇美川鉄橋をわたる機関車(昭和15年頃)

④三菱鉱業株式会社勝田鉱業所全景



⑫昭和25年頃の宇美町警察署



⑪明治32年9月1日に開局した  
宇美郵便局の新局舎が完成  
(木造2階建延112坪)



⑩消防会館(建坪34坪)



⑦西鉄バス宇美停留所 昭和25  
当時、宇美町内の登録自動車  
車両台数が12台だった時代、  
バスは重要な移動手段だった。



⑤香椎線宇美駅



⑤勝田線宇美駅



⑤勝田線下宇美駅



⑤勝田線勝田駅



⑧昭和24年8月16日 ジュディス台風が襲来。400ミ  
リ/時の豪雨により山間部一帯に大小100か所以  
上の山崩りが発生。土砂が巨岩大木を押し流し宇  
美川上流が氾濫。翌17日午後6時までに家屋流  
失・損壊125戸、橋梁流失13か所、道路堤防決壊80  
余か所、耕地流失埋没約12ヘクタール。写真は六  
反田橋付近から黒穂地区を望む。



①昭和初期の一本松公園



③建坪90.6坪の旧役場庁舎 現在の宇美町歴史民俗  
資料館の場所にあった(昭和40年後半撮影)



②原田小学校 昭和9.4.1竣工(木造瓦葺平屋2棟)

大正9年(西暦1920年)、宇美町は  
糟屋郡で最初の「町」として誕生しまし  
た。この地には、人々が暮らし、学び、  
働くことで積み重ねてきた100年の歴  
史があります。そこには、郷土の発展  
を願う先人達が築いた偉業もあれば、  
この地で静かに暮らした人々の日常  
が伝統として今に継承されているもの  
もあります。

歴史に学び、未来を考察する一  
私たちが直面する様々な課題の解  
決には、歴史に裏付けされた教訓にそ  
の手がかりがあるかもしれません。新  
たな100年を歩みはじめた今、宇美町  
の誕生から数々の時代の転換期を経  
て現代に至るまでの100年を振り返り  
ます。

1920 大正9年町制施行

世帯数2,585戸、人口11,979人

1926 大正15年ラジオ放送はじまる

1930 昭和5年町制施行10周年

世帯数2,677戸、人口12,894人①

1931 昭和6年満州事変

1934 昭和9年原田小学校開校②

1935 昭和10年旧役場庁舎改築③

1936 昭和11年二・二六事件

1938 昭和13年三菱鉱業株式会社勝田鉱業所創立④

1940 昭和15年町制施行20周年

世帯数3,660戸、人口18,461人

1941 昭和16年早見郵便局開設

太平洋戦争開戦

1944 昭和19年博多湾鉄道、  
筑前参宮鉄道が国鉄になる⑤

1945 昭和20年神武原小学校開校⑥

ポツダム宣言受諾(戦争終結)

1947 昭和22年西鉄バス博多―宇美、  
宇美―二日市間開通⑦

1948 昭和23年宇美町商工会設立

1949 昭和24年ジュディス台風災害⑧

1950 昭和25年宇美中学校校舎落成⑨

宇美町消防会館完成⑩

宇美郵便局新局舎完成⑪

町制施行30周年

世帯数4,565戸、人口21,972人⑫

朝鮮戦争はじまる

1951 昭和26年サンフランシスコ講和条約締結

1953 昭和28年テレビ放送開始

1955 昭和30年西鉄バス宇美―南福岡間開通

1958 昭和33年関門海底トンネル開通

1959 昭和34年伊勢湾台風(死者不明5,041人)

1960 昭和35年町制施行40周年

世帯数4,464戸、人口20,374人

1960 昭和35年町制施行40周年